

KY HOUSE III

横浜市・鶴見区

IKEDA

ARCHITECTURE



端正で彫の深いマスクを持つ南ファサード

EXTERIOR DESIGN

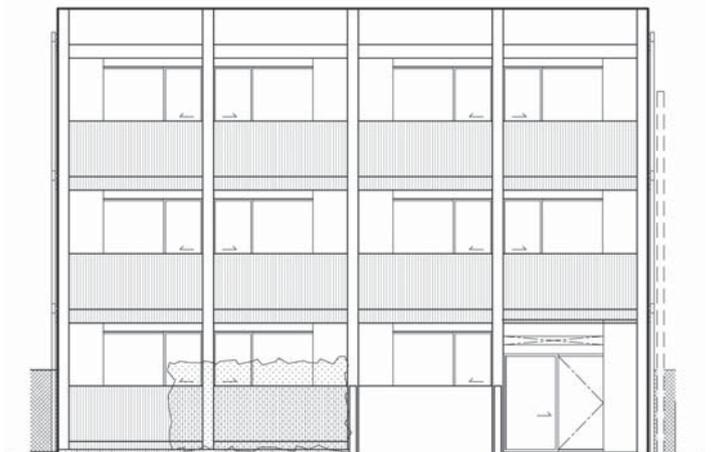
■ 佇まいの良さが重要

建物の顔にはどのようなデザインがふさわしいのでしょうか？
 どんな建物にも負けない奇抜なデザインや、好みの色を使った個性的なデザイン、普通のデザインとその答えは多種多様です。デザインにおいて正解はありませんが、守るべきルールは存在します。それは素材や建物の持つ形を素直に表現し、周囲と調和を保つことです。そしてそのルールを理解したうえで、余分なものをそぎ落とし、ディテールを研ぎ澄ますことにより、佇まいの良い建物ができます。

KYハウスは佇まいの良さととことんこだわりました。是非一度現地に足を運んで、その佇まいの良さを実感して下さい。



質素で暖かな質感が感じられるエントランス



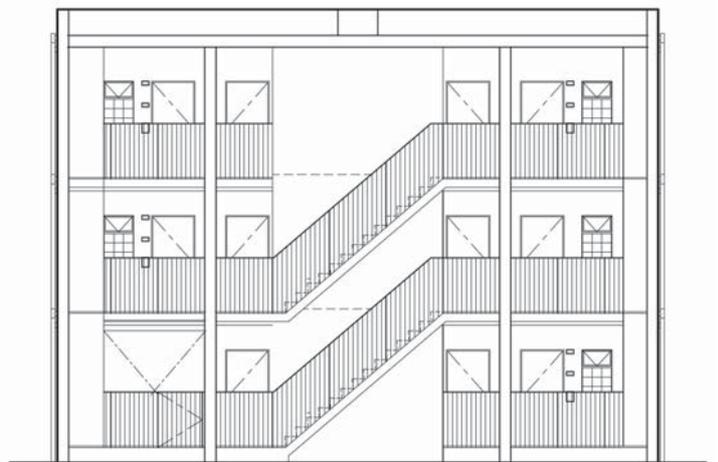
南立面図



街並みと呼応し溶け込む佇まい



シャープでシンプルな造形の北側ファサード



北立面図



コンクリート打放しの壁がアクセントのLD空間

INTERIOR DESIGN

■ 常識を覆すプランニング

一般的なLDK間取りでは、個々の部屋を独立して扱うのが一般的ですが、しかしそれでは多様化するユーザーのライフスタイルにこたえることはできません。KYハウスにおいては、リビングとダイニングを一体の空間とし、3枚引込戸で仕切るレイアウトとしました。時には独立した2部屋として、またあるときは一つの大きな部屋として使うことが可能です。日本が古来から培ってきた空間概念を持ち込み、新しい発想の間取りを実現しました。

■ 土間空間により内部と外部を柔らかく接続

玄関を土間空間として広くつくりました。そしてガラスブロックの採光換気窓を設け、従来のマンションでは暗くなりがちな玄関や廊下を、明るく開放的な空間に仕立てあげました。また玄関ドアを廊下の軸線からずらすことにより、入口から居室が直接見えない工夫がなされています。

■ 外部との連続性があるインテリア

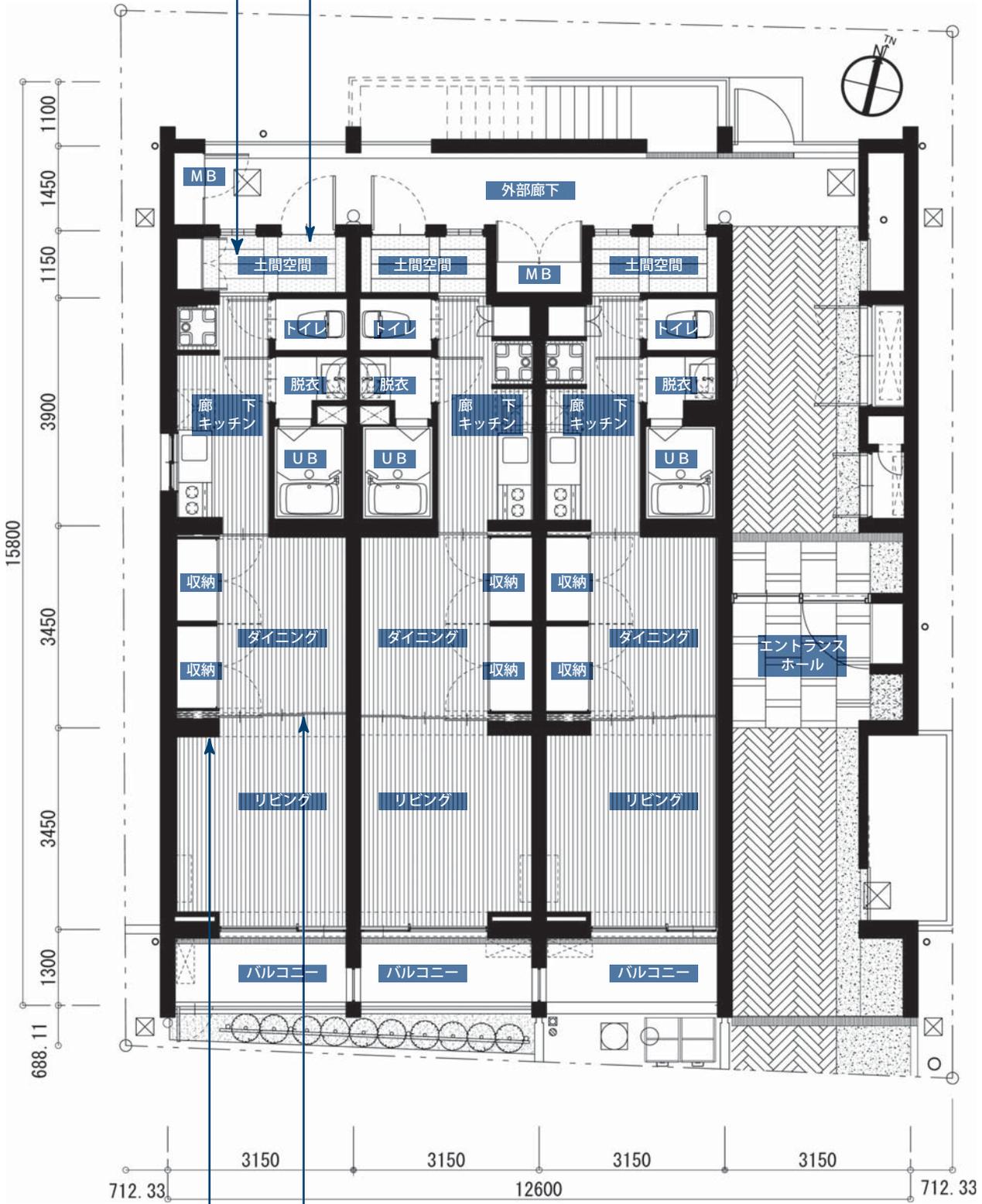
外部とのつながりを重視する日本のライフスタイルを取り入れ、外壁のコンクリート打放し壁が、LDの内壁として内部空間に連続するデザインとしています。壁式構造の重量感を肌で感じると共に、空間に広がりを持たせています。



土間空間からの採光により明るい廊下とキッチン

広い玄関の土間空間はガラスブロックを採用した明るい空間。

玄関ドアを廊下とずらすことによってプライバシーを確保。



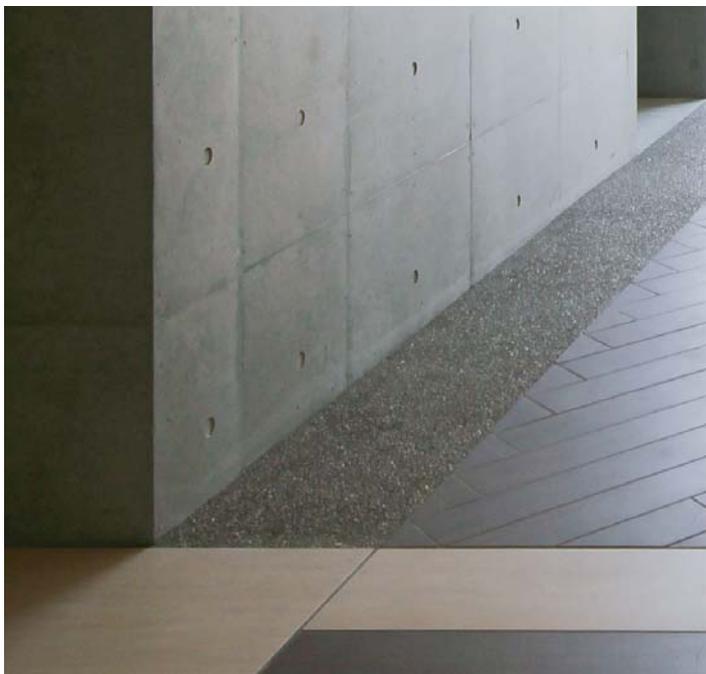
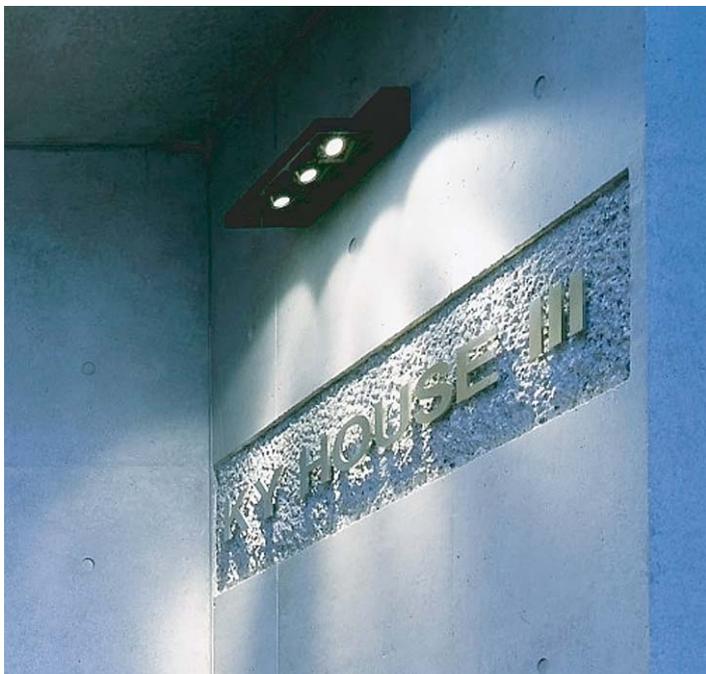
壁柱を収納や、キッチンの袖壁とし、存在感をささないように配慮。

3枚引き戸の採用により空間の自由度を高めたプランレイアウト。



DETAIL DESIGN







SPECIFICATION

■建物概要

名称 KYハウスⅢ
 用途 共同住宅(賃貸マンション)
 所在地 横浜市鶴見区潮田町1-58
 設計監理 池田建築設計
 施工 (株)小川組

構造 RC3階・地下無し・既製杭
 敷地面積 250.51㎡
 建築面積 170.68㎡
 延床面積 451.42㎡(2K・37.5㎡×11戸)
 地域地区 近隣商業地域・準防火地域・第6種高度地区
 設計期間 2009年4月～2009年7月
 施工期間 2009年11月～2010年6月

■外部仕上

屋根 砂付アスファルトルーフィング陸屋根
 外壁 コンクリート化粧打ち放しのうえランデックス塗装
 開口部 アルミサッシ(既製品)電解二次着色
 外構 コンクリート金ゴテ舗装
 植栽 生垣:イヌマキ2000H

■内部仕上

エントランス (床)磁器質タイル貼り
 (壁)コンクリート化粧打ち放しのうえランデックス塗装
 (天井)ケイカル板のうえ外部用EP塗装
 共用廊下 (床)ビニル床シート貼り
 (壁)コンクリート化粧打ち放しのうえランデックス塗装
 (天井)コンクリート化粧打ち放しのうえランデックス塗装
 住戸 (床)複合フローリング12t
 (壁)ビニールクロス貼り
 コンクリート化粧打ち放しのうえランデックス塗装